

症例1 8か月 女児

【現病歴】

受診前日から陥没呼吸が出現した

【周産期歴】

異常なし

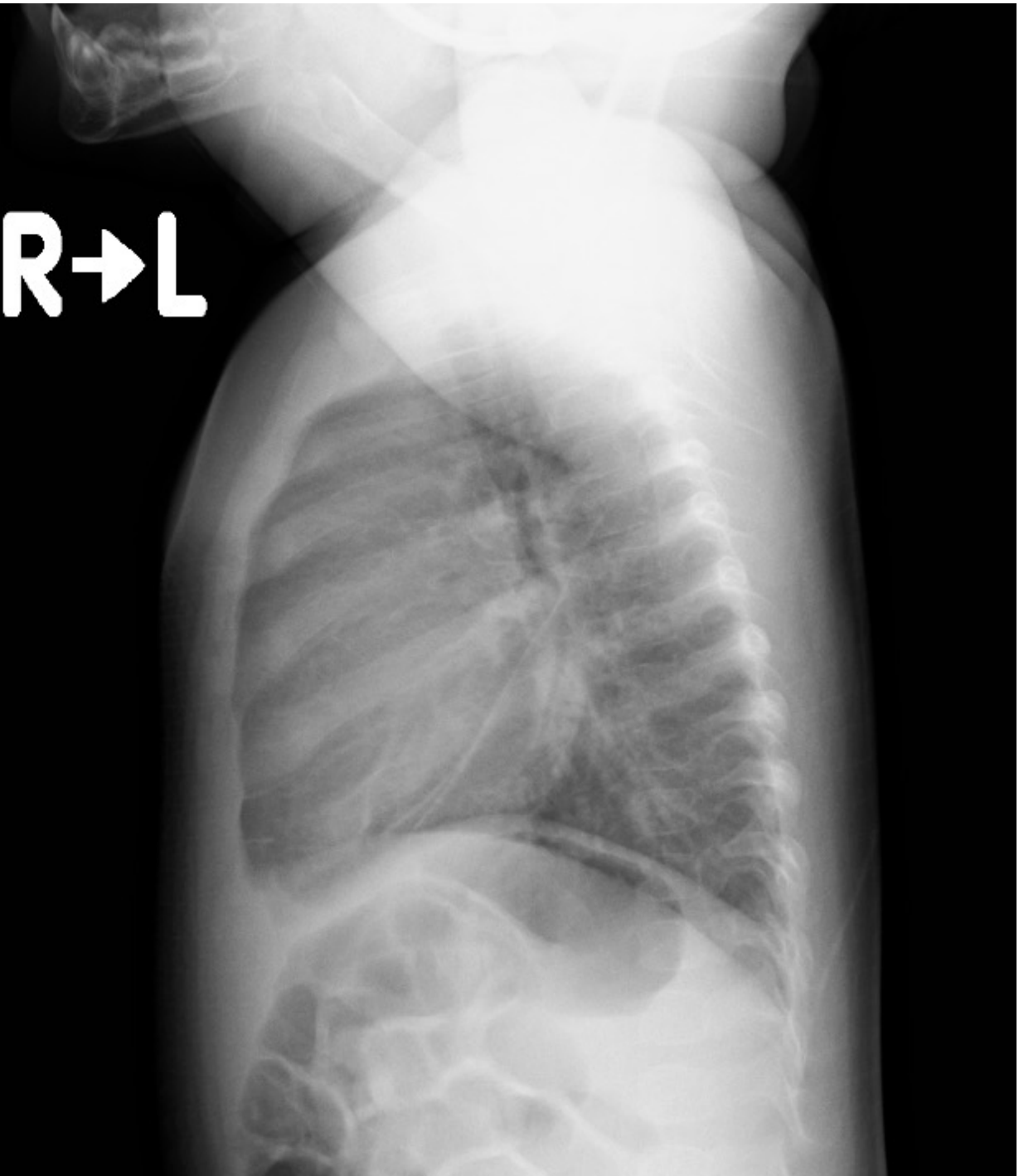
【既往歴】

なし

心拍数	150	bpm
血圧	94/60	mmHg
酸素飽和度(みぎ上肢・室内気)	97	%
呼吸数	28	回/分



R→L



胸部単純写真の所見をもとに
考慮すべき鑑別診断(3つまで)を
教えてください

症例2 1か月 女児

【主訴】

胸腹部単純X線写真で異常陰影を指摘された

【現病歴】

胎児期に先天性心疾患を指摘

在胎38週2日, 3002gで出生, 胎便吸引症候群

Apgar score 5点(1分), 7点(5分), 9点(10分)

出生後, 左心低形成症候群 (HLHS:MA/AA), Restrictive FO (rFO),

Levoatrial cardinal vein (LACV), Unroofed coronary sinus (URCS)

と診断された。

【現病歴(続き)】

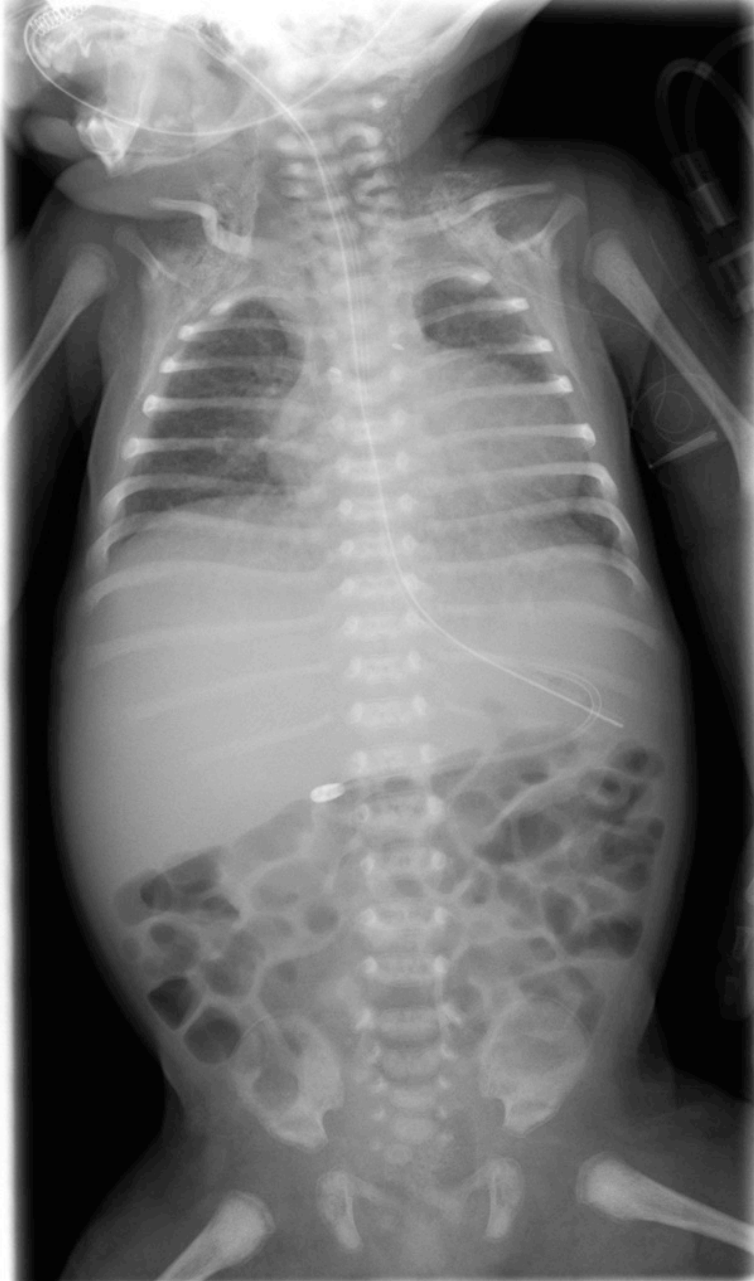
生後0日 LACVに対する経皮的血管形成術 (PTA)

生後3日 バルーン心房中隔裂開術 (static BAS)

生後4日 両側肺動脈絞扼術 (bilateral PAB)

生後10日～ 呼吸器関連感染から菌血症を起こし, 抗生剤投与中.

生後31日 胸腹部単純X線写真正面像
(右:胸部拡大像)



① 単純X線写真の異常所見(脊椎・肋骨は除く)

はどこでしょうか？それは何でしょうか？

② これに対して何か治療が必要でしょうか？

症例3 日齢19 男児

【主訴】右臀部腫瘍

【現病歴】

日齢3に偶発的に右臀部腫瘍を触知され, 前医を受診.

超音波検査で腫瘍性病変を認め, 精査加療目的に当院受診となった.

【身体所見】

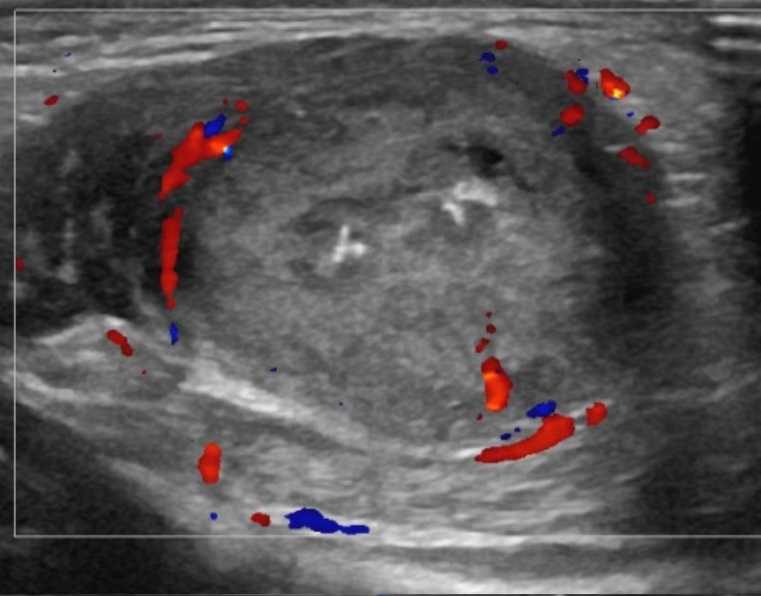
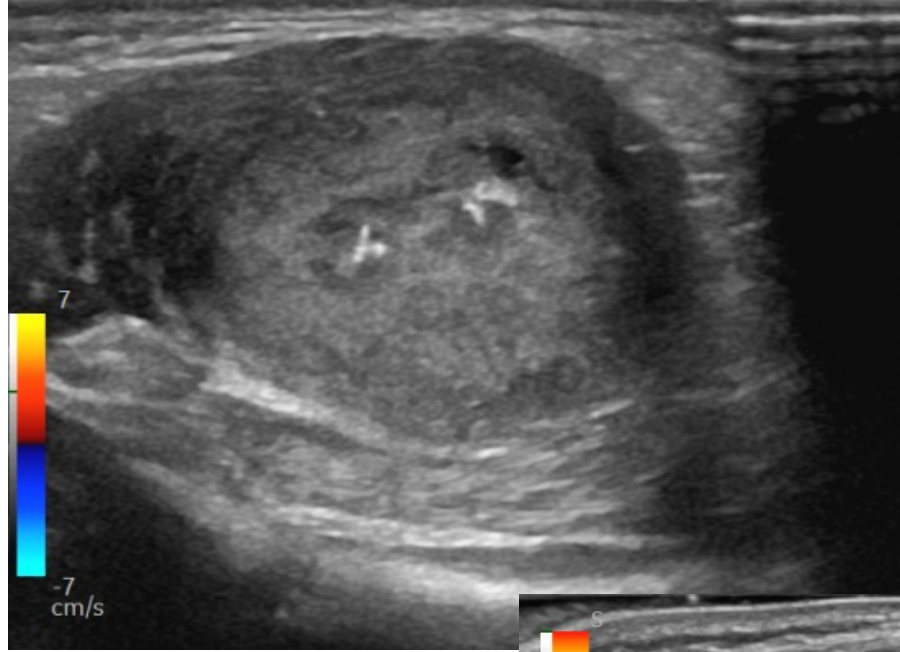
右臀部に弾性硬の腫瘍を触知, 皮膚色調変化なし, 熱感なし

日齢3から触診上は大きなサイズ変化なし

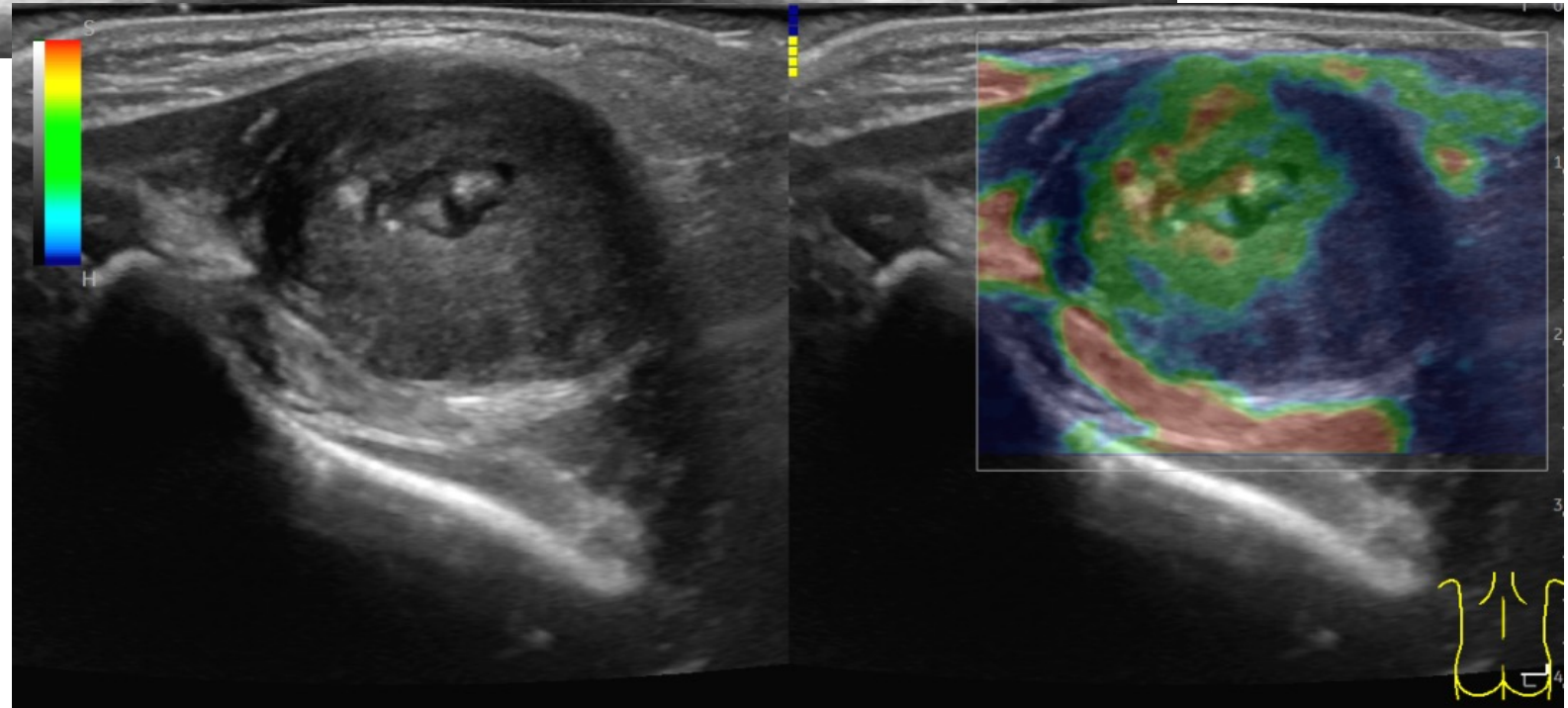
【既往歴】

特記事項なし

当院受診時の超音波検査(右臀部横走査)

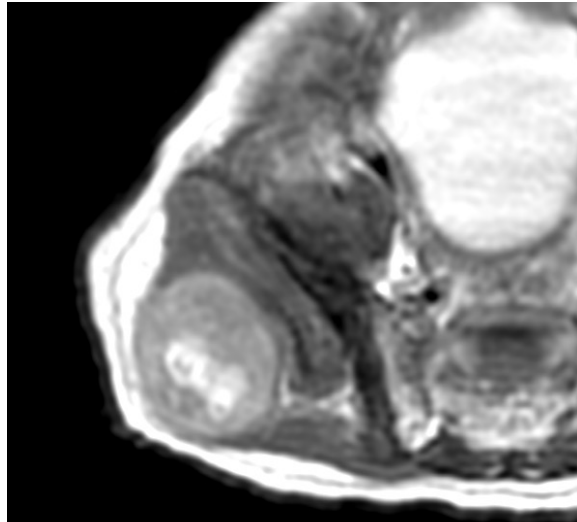


カラードプラ像

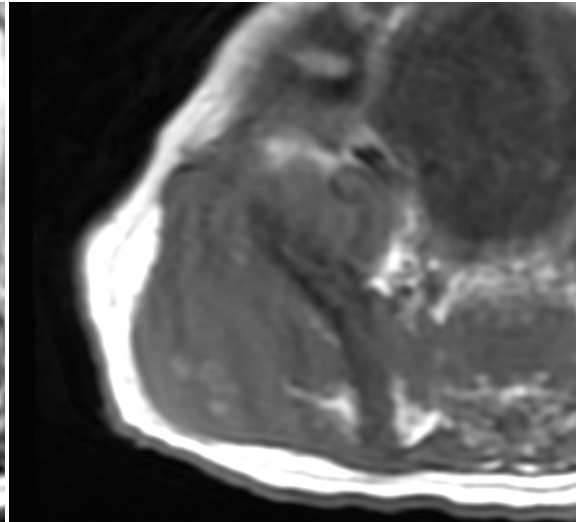


エラストグラフィー

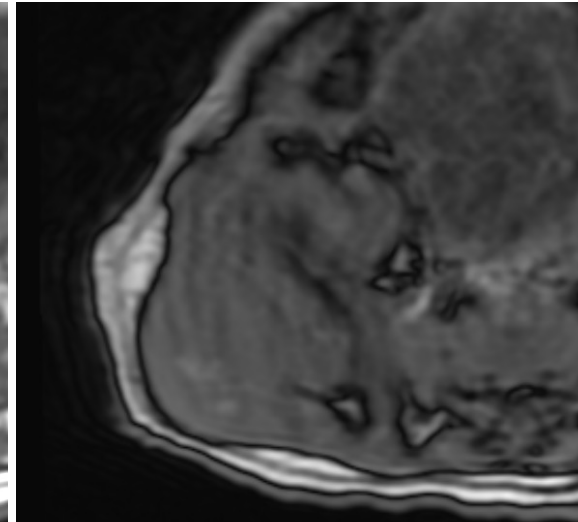
右臀部MRI



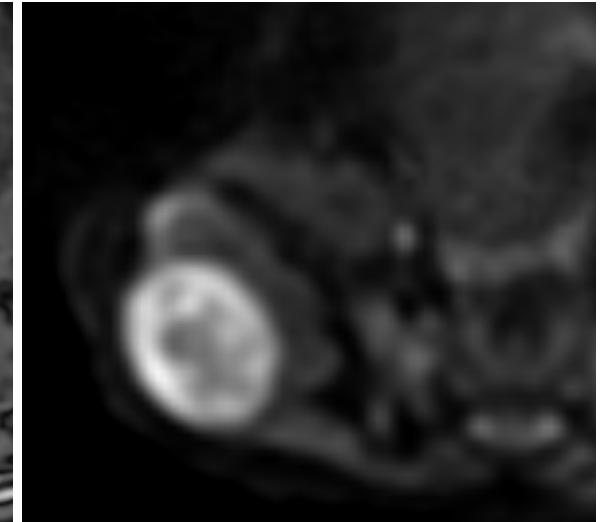
T2WI



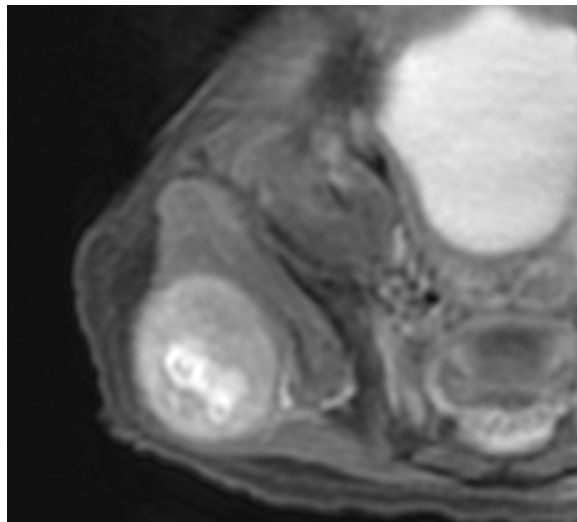
T1WI in phase



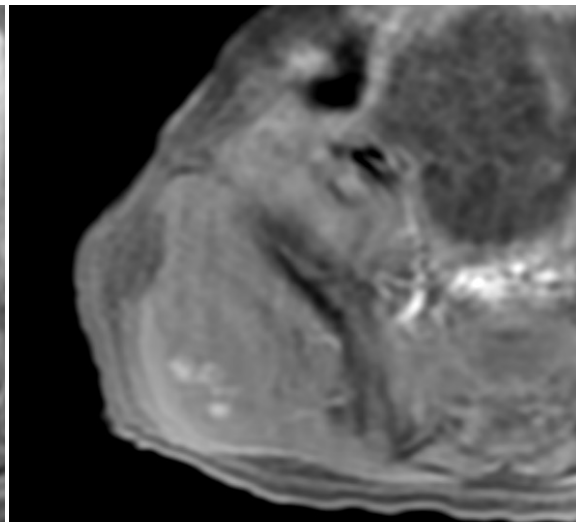
T1WI out of phase



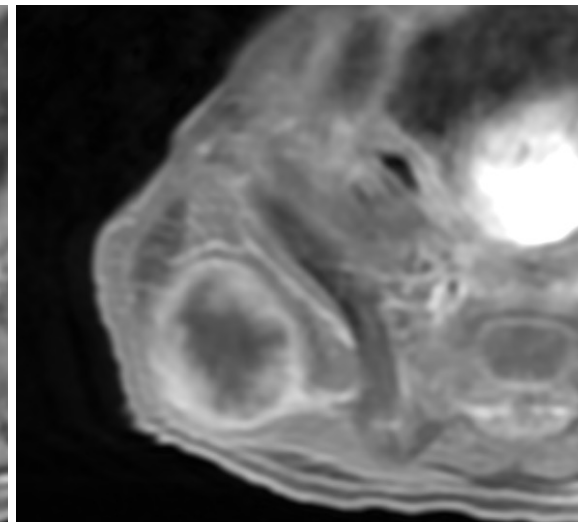
DWI



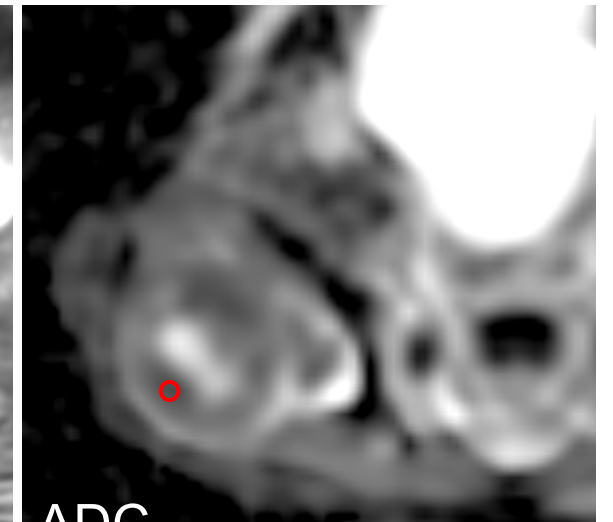
脂肪抑制T2WI



脂肪抑制T1WI

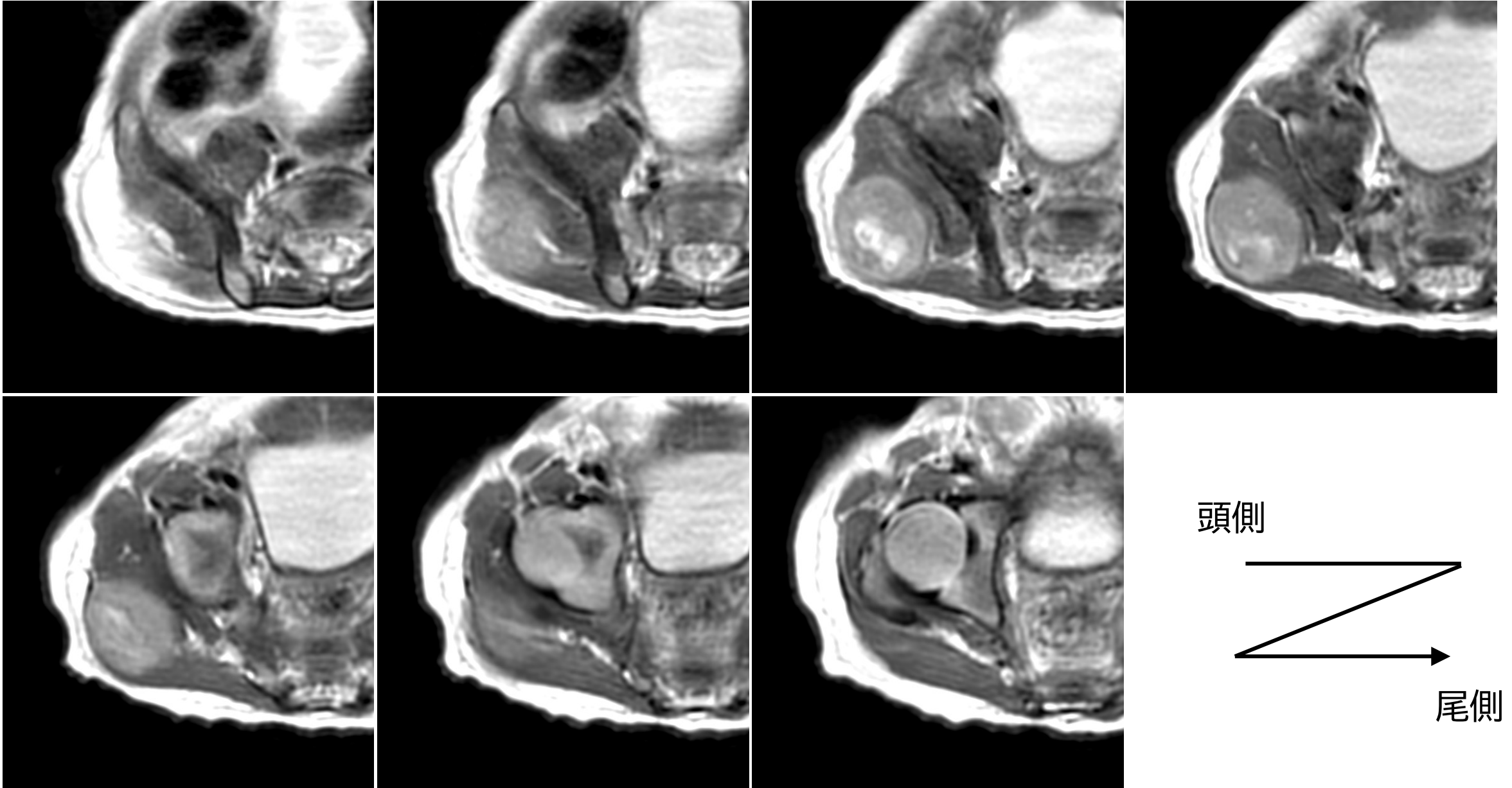


造影後脂肪抑制T1WI

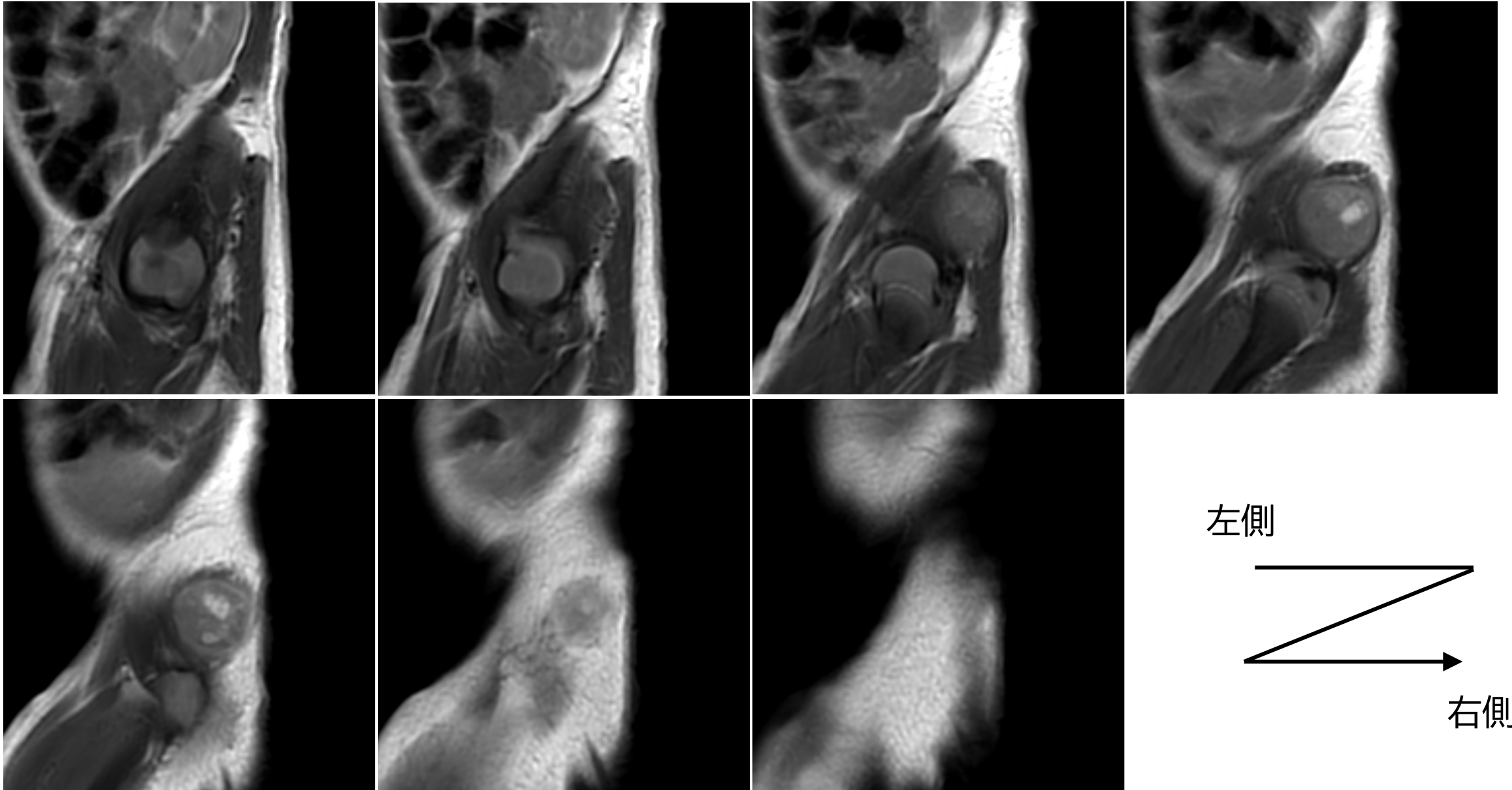


ADC
(○: $0.92 \times 10^{-3} \text{ mm}^2/\text{sec}$)

右臀部MRI T2WI 軸位断像 連続スライス



右臀部MRI T2WI 矢状断像 連続スライス



診断をお願いします

症例4 12歳 男児

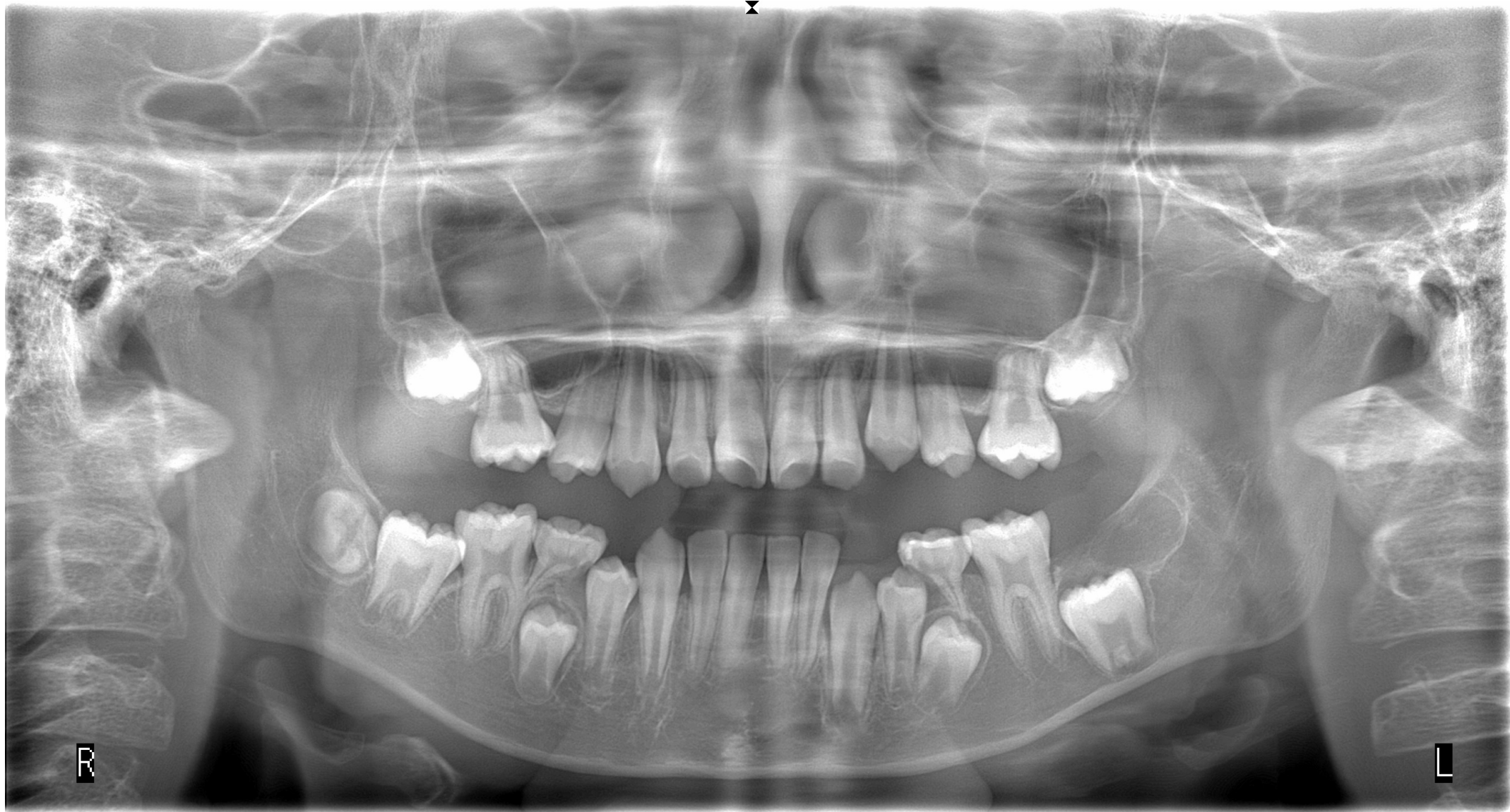
【主訴】 なし(左下顎骨腫瘍で紹介)

【現病歴】

歯科矯正治療を目的に近医歯科を受診し、パノラマ撮影で偶発的に左下顎骨の骨透亮像を認め、紹介となる。

【既往歴・家族歴】

特記すべき事項なし



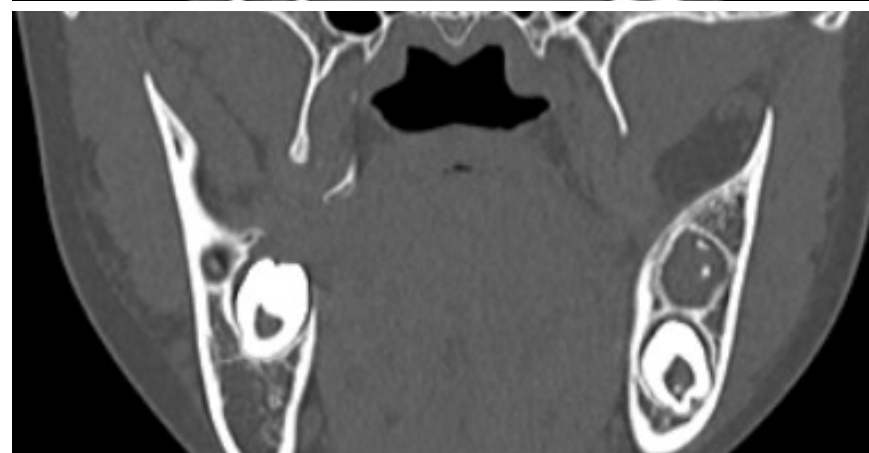
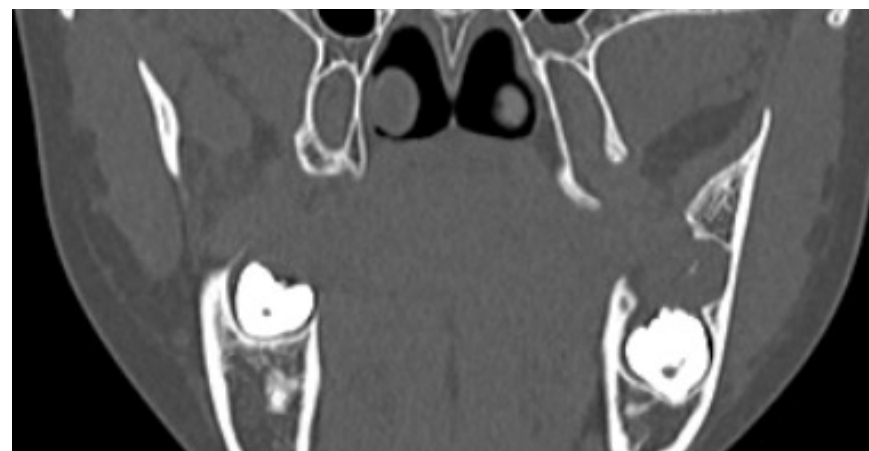
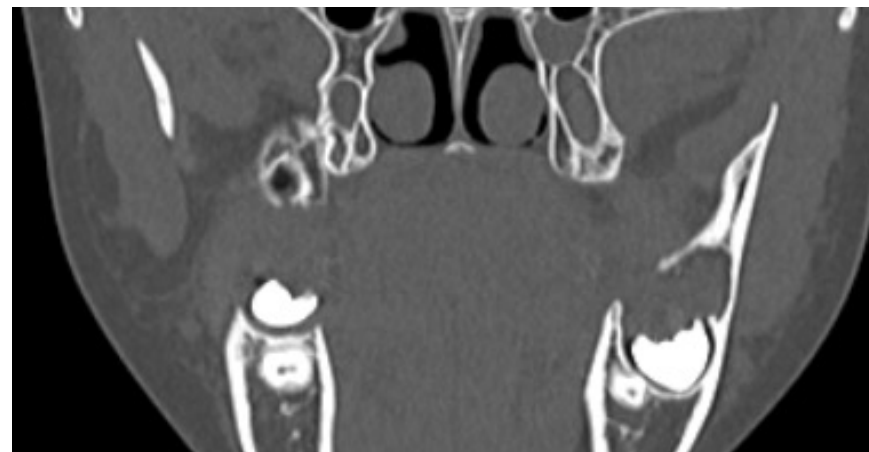
骨条件



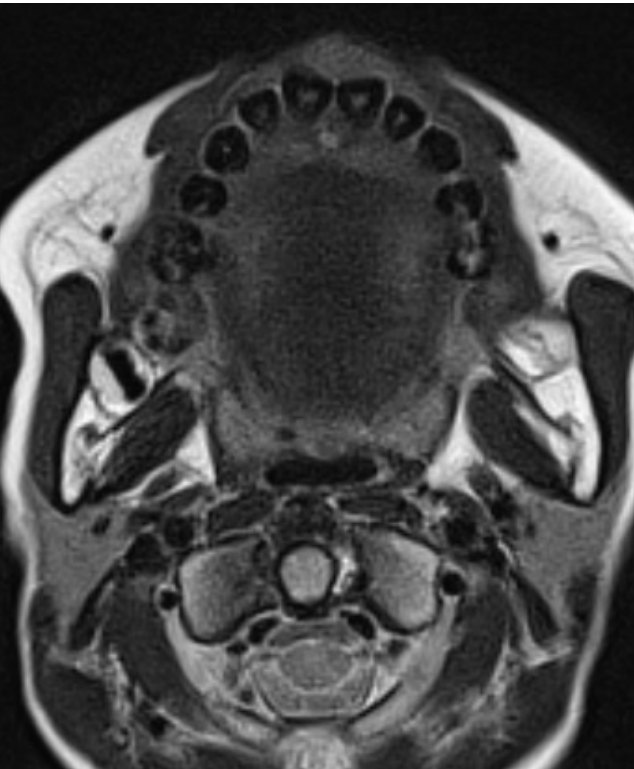
軟部条件



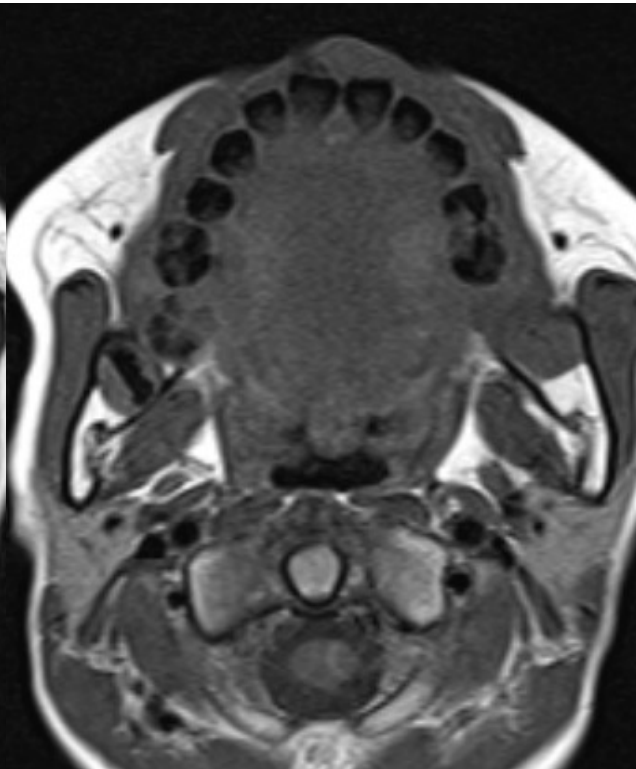
骨条件
(冠状断)
前 → 後



T2WI



T1WI



DWI



ADC map



診断をお願いします
(WHO分類は無視してください)